
あの時は...

みやお

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あの時は…

【Nコード】

N5120T

【作者名】

みやお

【あらすじ】

― 3年前の事

今更過去は変えられない。でも、伝えることは出来る。

登場人物紹介

私^{みやお}：5年3組

明日香^{あすか}：私の幼馴染。 5年2組

柚璃^{ゆり}：私の大親友。 美夏と友達。 3年のとき、私を孤独から救ってくれた人。 5年2組

美夏^{みか}：明日香と5年間ずっとクラスが一緒に仲良しだった。 柚璃と友達。 私とはあまり面識がない。 5年2組

* 注意

読んでいてどうしてああしなかったのか、こうしなかったのかなど、思うと思います。

でも、それだけ筆者が弱い人間だと言ったことを忘れないでください。

今頃書いたって過ぎた過去だから、どうしようもない事なんですけど、どうしても伝えたくって…

I d o n o t k n o w i t . . .

柚「グーがいい？パーがいい？」

明「…グー」

グーと答えた女の子の子の声は、とても弱々しかった。

ここは小学校の放送室。

柚璃と美夏は他の放送委員を追い出して、明日香一人を残した。

明「う」

先「ちょっと！あなたたち、なにやっているの！？」

美「いえ、何も。それでは」

—私が知ってるのはたったこれだけ。

クラスが違ったから、詳しくは分からない。

聞きたかったけど、聞けなかった…

こたえ
真実を聞くのが怖かったから。

I Really Want To Tell You .

自分を信じてくれてるんだったら、裏切っちゃダメ。信じなきゃ。
私が言える事じゃないけど…裏切るなんて、最低。私は、こんな事をする人は許せない。これは辛い思いをした人にしか分からない大事な事。

また…泣いてしまった。 これを考えて、泣くのはあたしなのに…。
考えまいと思っても、ダメ。 …明日香、支えになれなくて、ゴメン。 信じてあげられなくて、ゴメン。

痛みでも、泣かない。 感情を滅多にださない。なのに…この3日間、泣いた。

こんなに泣いたのは、何年ぶりだろう。
全部私が悪いのに…

5年の時、幼馴染^{明日香}を裏切っちゃった。 表面だけをみれば、裏切ったことにならないかもしれないんだけど、力になれなかったの…

滅多に悔やまない、なんでもポジティブに考えるようにしてるけど…これだけは何があっても悔やむ。 なんて、あの2人を止められなかったんだろう。大親友と、幼馴染^{明日香}。 どちらも信じられてなかった。 自分のことだけが精一杯で、何も力になれなかった。 今頃言ったって元の関係には戻れないのに…

私って、最低だよな

大親友が、幼馴染をいじめだして… 結局、何も出来なかった私が
悪いんだけど。

小5の時。 体調を崩し、不登校になりかけてた…。 考えてみれば、友達の悩みは聞いたりする事が多いけど、自分の悩みは打ち明けたことはないなあ…

正義感…なんて私にはない…。

ひどい事ばかりしてきてますから。

私の友達にもそんな人がいた…。 こうやって、ドンドン人を傷つけていっちゃうんだよね…私って。

普通なら、幼馴染を助けると思う。 でも…その親友ってのが、3年の時、私を仲間に誘ってくれたのはじめての子だったの。 だから助けてもらったのに裏切るなんてできなくて…。 5年の時、クラス違ったから、いじめに気づくのも遅かった…

ずっと…ずっと。 信じてたツモリだった。

でも、それは私の思い違いだったんだね。

私は信じきれてなかった。
力になれなかった。
見放した。

3年経って、今頃後悔してる。
罪悪感ってモノを初めて味わった。

ホントに、私って最低。

結局何も出来てないクセに。

自分の事が精一杯で、結局自己中じゃん。

ありえない。

自分がありえない。

ゴメンって言っても、言っても謝りきれない。

…一人で抱え込むタイプって言われた。

確かに、その通り。

抱え込みすぎて、何がなんだかかわらなくなる。

周りに迷惑かけないように、抱え込む。

でも、逆に迷惑かけてたんだよね…。

そんな簡単なことに気付かなかったあたしってホントにバカ。

でも…言えない。

抱え込んだじゃう。

自分を傷つける。

人を傷つける。

こんなの書いたって、私のエゴにしかないのに。

どうしようもないのに。

泣くまいと思っても泣いてる。

もっと強くならなきゃ。

コメンって言えるくらいに。

I Really Want To Tell You . (後書き)

ひどい終わり方ですが…

あまり、続けると私の精神が持たなくなりますから…

個人の理由で、スミマセン。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5120t/>

あの時は...

2011年10月8日19時10分発行